

郊外の可能性

Revision of Suburbia

賞金総額
100万円

※入選点数・賞金は審査委員会の決定に従う。

都心再生が唱えられる一方、その外延には幹線道路を軸として様々な施設や活動が集積しています。こうした郊外のロードサイド型市街地は車依存や商業主義が目立つ反面、農地や緑地が混在し、都市と田園の両要素を楽しめる場所でもあります。

郡山アーバンデザインセンター(UDCKo)の拠点、郡山市並木地区も郡山駅から約2.5km、内環状線沿いの混合市街地です。この並木地区をケーススタディとして、郊外のこれからの可能性を考えるアイデアコンペを行います。建築や空間整備のようなハード、商業企画やライフスタイルのようなソフト、そのどちらでも、両方でも構いません。地区全体を提案しても、部分のデザインから地区への波及を狙っても構いません。奮って御応募ください。

優秀な提案は、実施に向けて検討していきます。

■コンペティション・スケジュール【2009】

9月26日(土) 公募現地説明会
曾我部昌史・本田勝之講演会
14:00～交流会
【会場：郡山 ラボット】

10月16日(金) 質疑締切

10月30日(金) 質疑回答をホームページにて公表

11月20日(金) 1次提案応募締切

11月下旬 1次審査会(書類選考)

12月4日(金) ホームページにて結果発表

1月23日(土) 2次提案応募締切
プレゼン・公開最終審査・交流会

審査結果通知 2010年1月末日までに通知

■主催／ 特定非営利活動法人 郡山アーバンデザインセンター[UDCKo]

■提案対象地／ 並木地区の内環状線の通り(右図参照)の全体またはその部分 ■応募資格／ 不問 ■賞金／ 総額100万円 ※入選点数・賞金は審査委員会の決定に従う。

■審査委員／ 曾我部 昌史(建築家、神奈川大学教授、みかんぐみ共同主宰)・知野 泰明(景観工学、日本大学准教授)・本田 勝之助(地域プロデューサー、会津食のルネッサンス代表取締役)・柳沼 湧(並木町会長、UDCKo理事長)・北沢 猛(アーバンデザイナー、東京大学大学院教授、UDCKo理事)・宗像 剛(ラボット・プランナー代表取締役、UDCKo理事)

◎応募方法／ [1次提出] A3版1枚以内の用紙(横使い)に提案内容をレイアウトして下さい。 [2次提出] A1版1枚以内の用紙(横使い)に提案内容をレイアウトして下さい。パワーポイントによるプレゼンテーション。

◎応募提出・お問合せ先／〒963-8026 福島県郡山市並木2-1-1(LABOTTO内) 郡山アーバンデザインセンター コンペティション係 宛 FAX: 024-991-8971 E-Mail: compe@udcko.jp

※当コンペは平成21年度国土交通省「住まい・まちづくり担い手事業」に採択されて実施します。

※質疑は、FAXまたはメールにてお願いします。 ※提出資料等は返却いたしません。必要な場合はあらかじめ複製してください。 ※コンペ関係の資料及び最新情報は、右記のHPよりご確認ください。 <http://www.udcko.jp>

※応募作品の著作権は提案者に帰属します。主催者は応募作品をホームページや出版物等へ出版・公開することがあります。主催者は入賞作品の使用権を有しますが、その全部または一部を事業化商品化する場合、その提案者はその業務に関わる優先権を有します。それ以外の非入賞作品には、主催者に利用権はなく、事業化商品化は行いません。

UDCKoとは？

郡山アーバンデザインセンター(Urban Design Center Koriyama)は、福島県郡山市を中心とした郡山地域を対象として、都市デザイン・まちづくりを研究・実践するNPO法人です。その先導モデルとして、並木地区を対象にして具体的に取組みます。並木町会、並木の民間企業(ラボット・プランナー他)、東京大学(北沢猛教授)等を中心に、2008年11月に設立認証されました。今後、幅広く会員のネットワークを広げて、地方中核都市の新たな可能性を研究し、郡山地域の未来を"デザイン"していきます。

